

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2010-254847(P2010-254847A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2009-107976(P2009-107976)

【国際特許分類】

C 0 9 B	29/50	(2006.01)
C 0 9 B	67/20	(2006.01)
G 0 3 G	9/09	(2006.01)
G 0 3 G	9/087	(2006.01)
G 0 3 G	9/08	(2006.01)
C 0 9 B	67/46	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	29/50	C L A
C 0 9 B	67/20	C S P L
C 0 9 B	67/20	K
G 0 3 G	9/08	3 6 1
G 0 3 G	9/08	3 8 4
G 0 3 G	9/08	3 6 5
C 0 9 B	67/46	A

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月27日(2012.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

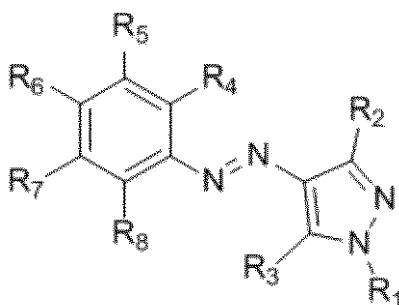
【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【化1】



(1)

[一般式(1)中、R₁は水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。R₂は水素原子、ヒドロキシル基、アミノ基、アルキル基、アリール基、カルバモイル基、-COOM基、-COOR₉基、又は-COCONR₁₀R₁₁基を表す。R₃はヒドロキシル基、又はアミノ基を表す。R₄乃至R₈は各々独立して、水素原子、又は1価の置換基を表す。R₉乃至R₁₀は各々独立して、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。R₁₁は、水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。Mは水素原子、又はカウンターカチオンを表す。但し、R₄乃至R₈の少なくとも1つは、下記一般式(2)の構造である。]

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

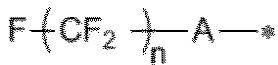
【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【化2】



(2)

(一般式(2)中のAは2価の連結基を表す。*は結合部位を表す。nは3乃至7の整数値を表す。)]

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

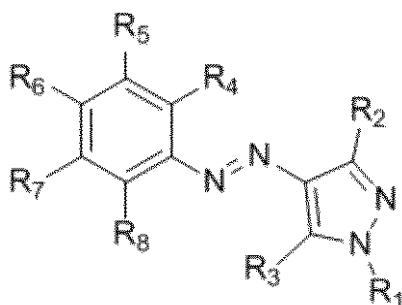
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で表されることを特徴とする色素化合物。

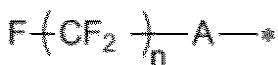
【化1】



(1)

[一般式(1)中、R₁は水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。R₂は水素原子、ヒドロキシル基、アミノ基、アルキル基、アリール基、カルバモイル基、-COOM基、-COOR₉基、又は-CO NR₁₀R₁₁基を表す。R₃はヒドロキシル基、又はアミノ基を表す。R₄乃至R₈は各々独立して、水素原子、又は1価の置換基を表す。R₉乃至R₁₀は各々独立して、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。R₁₁は水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。Mは水素原子、又はカウンターカチオンを表す。但し、R₄乃至R₈の少なくとも1つは、下記一般式(2)の構造である。]

【化2】



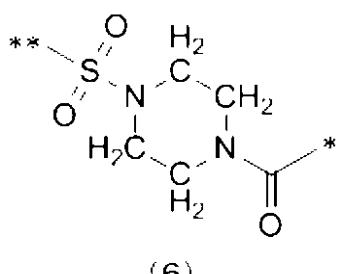
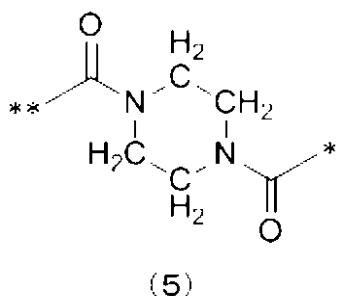
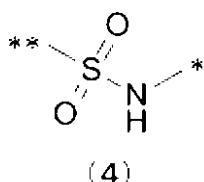
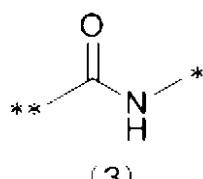
(2)

(一般式(2)中のAは2価の連結基を表す。*は結合部位を表す。nは3乃至7の整数値を表す。)]

【請求項2】

前記一般式(2)中のAが、下記一般式(3)乃至(6)で表されるいづれかの構造であることを特徴とする請求項1に記載の色素化合物。

【化 3】



[式(3)乃至(6)中の**は、パーカルオロアルキル基との結合部位を表す。]

【請求項3】

前記一般式(1)中のR₂が、-COOM基(Mは水素原子、又はカウンターカチオンを表す)であることを特徴とする請求項1又は2に記載の色素化合物。

【請求項4】

前記一般式(1)中のR₄乃至R₈の少なくとも1つが、前記一般式(2)で表される構造であり、残りの置換基がそれぞれ独立して水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、-COOM基(Mは水素原子、又はカウンターカチオンを表す)のいずれかであることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の色素化合物。

【請求項5】

前記一般式(2)中のAが、前記式(3)又は(4)で表される構造であることを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載の色素化合物。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか1項に記載の色素化合物を少なくとも1種含有する顔料分散剤。

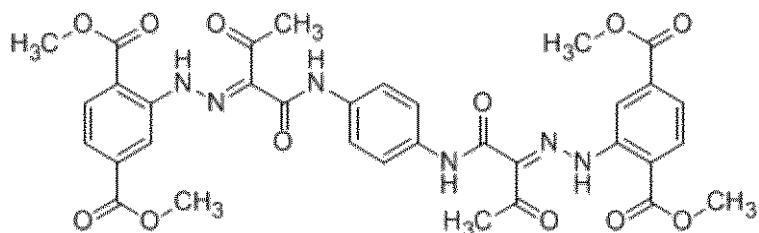
【請求項7】

請求項6に記載の顔料分散剤と、該顔料分散剤により分散されたアゾ顔料を含有することを特徴とする顔料組成物。

【請求項8】

前記アゾ顔料が、式(7)で表されることを特徴とする請求項7に記載の顔料組成物。

【化4】



(7)

【請求項9】

請求項7又は8に記載の顔料組成物と、分散媒として有機溶媒とを含むことを特徴とする顔料分散体。

【請求項10】

少なくとも、結着樹脂、着色剤及びワックス成分を有するトナー母粒子を含有するトナーであって、前記着色剤として請求項7又は8に記載の顔料組成物を含有することを特徴とするイエロートナー。

【請求項11】

前記トナーの母粒子が、水系媒体中で、懸濁重合法或いは懸濁造粒法によって得られるものであることを特徴とする請求項10に記載のイエロートナー。